

「デジタル活用セミナー」を開催 <<デジタルの力で未来につなごう！四国の豊かな“食”>>

- 四国総合通信局は、令和6年2月14日(水)に「デジタル活用セミナー」を松山市内（ハイブリッド）で開催（共催：四国情報通信懇談会）し、四国における心豊かな暮らしの実現に向けて、水産業、畜産業、農業及び飲食業の各分野で、デジタルの活用により新たなサービスの実現に取り組む方々を講師にお迎えし、取組事例についてお話しいただきました。
- 自治体、企業、経済団体・商工団体、大学、国の機関等から、**現地・オンライン** 計約200名の参加がありました。

■ オープニングトーク「Ehime Food Innovation (EFI) コンソーシアムの取組」

愛媛県経済労働部 産業支援局 経営支援課 課長 高尾 浩司 氏から、フードテック、デジタルマーケティングを活用した食品関連産業のイノベーションの創出や、これらに必要な人材育成・マッチングの一体的な推進に向けた県のEFIの取組について、背景等も含めてご説明いただきました。



■【パネルディスカッション】

四国情報通信懇談会 地域デジタル実装部会長（香川大学准教授）の米谷 雄介氏をコーディネータに、DXを進めるきっかけや課題、DXに必要なこと等について登壇者、参加者でディスカッションを行いました。



■【事例1：水産業】「水産業を変革する!? 愛媛県×大企業×生産者の新たな試み」

赤坂水産有限会社 取締役 赤坂 竜太郎 氏 及び ソフトバンク株式会社 IT統括 IT&アーキテクト本部 アドバンステクノロジー推進室 担当部長 石若 裕子 氏から、AI自動給餌機を活用し植物性の餌で育てたサステナブルな真鯛を生み出した養殖業者と、ソフトバンク(株)、愛媛県等が連携して取り組んでいる、鮮度やうまみ指標の確立に向けた「魚の品質規格標準化プロジェクト」についてご紹介いただきました。



<会場の様子>

■【事例2：畜産業】「畜産業の6次産業化とデジタル活用の取組」

株式会社ゆうぼく 代表取締役 岡崎 晋也 氏から、畜産・加工・販売・飲食を展開する6次産業の会社において、それぞれ異なる業態をひとつなぎの隔たりのない組織にするためのシームレスでタイムリーなデータ活用の取組や、大手企業と共同開発した牛の監視システムについてご紹介いただきました。



<パネルディスカッションの様子>

■【事例3：飲食産業】「デジタル×老舗 脱！勘と経験マネジメント」

株式会社マルブン 代表取締役 眞鍋 一成 氏から、コロナ禍でのITサービス導入によるデータ経営への変化に向けた取組と、導入後3年間で起きた、社内の「脱・勘と経験マネジメント」への変革など、創業百年の老舗企業による外食産業のDXへの挑戦についてご紹介いただきました。



■【事例4：農業、飲食業】「村まるごとデジタル化事業から広がる取組」

高知県日高村 企画課 主幹 安岡 周総 氏から、スマホ普及率100%を目指しデジタル活用による住民生活の質の向上に取り組む「村まるごとデジタル化事業」の成果と、その知見を社会に還元する「まるごとデジタル」への取組の広がりや、農業の持続性向上等に向けた企画をご紹介いただきました。



■参加者の声（アンケートより）

- ・経営者の方から、導入側の観点で、真に解決すべき課題に対してデジタルを活用して解決する生の取組を聞いたのが良かった。
- ・デジタル化を進める上で、目的の共有、コミュニケーションが大切であることが理解できた。利用者側にメリットを理解させる取組の重要性がよくわかった。
- ・登壇者の皆様が様々な取組にチャレンジし、失敗と成功を繰り返しながら実績を積み上げていることに感銘を受けた。
- ・デジタルやDXに苦手意識がある人、慣れた環境を変化させたくない人へのアプローチの話が興味深かった。